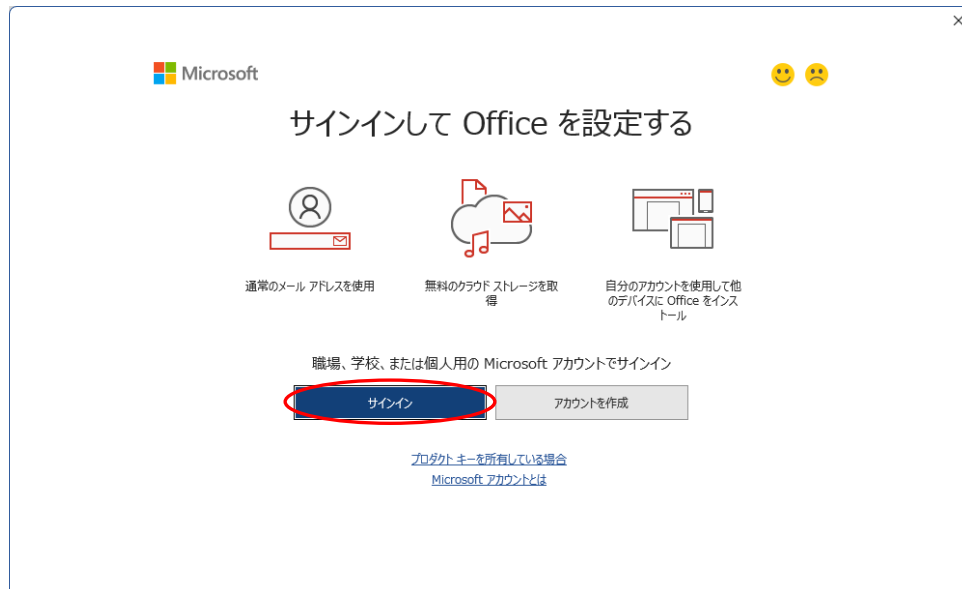


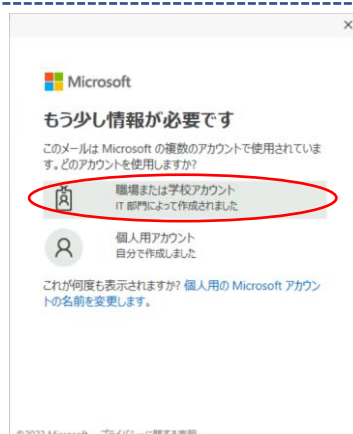
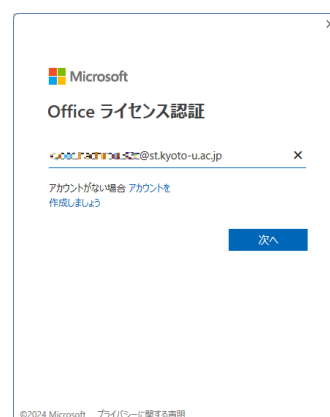
教育用端末(Windows)での Microsoft Office の有効化手続き

2023 年度より Microsoft Office の利用開始時に有効化手続きが必要になりました。



教育用端末の Windows OS にて、Microsoft Office アプリケーション（Word, Excel, Powerpoint, Access）の起動時に上の画面が表示されましたら、まずは [サインイン] ボタンをクリックして、以下の手続きを行ってからご使用ください。

画面が切り替わって Office ライセンス認証の画面では、大学にて付与されるメールアドレス（詳細は[こちらのページ](#)を参照）を入力して、[次へ] のボタンをクリックします。



人によって、左のような追加画面が出る方もいらっしゃいますが、こちらの画面では **職場または学校アカウント** をクリックしてください。この画面が出なかった方はスキップして次の手順へ進んでください。



Office ライセンス認証の画面にて正しいメールアドレスを入力された方は、本学の統合認証システムの画面が表示されます。左の画面に ECS-ID または SPS-ID でログインして下さい。初めの画面へ戻りたい方は、画面内の[×]ボタンを選択して下さい。また、統合認証システムの多要素認証を利用される方はワンタイムパスワードの入力を求められましたら、入力してください。
※ワンタイムパスワードの入手方法が不明な方、未設定の方は[こちらのページ](#)を参照の事

統合認証画面でログイン手続きに成功された方は、Office ライセンスの有効化手続きが開始されます。Microsoft 社による認証に 1 分程度お待ちいただく場合があります。



アカウントの問題

アカウントで検出された製品は、共有コンピューターでの Office ライセンス認証に使用することはできません。

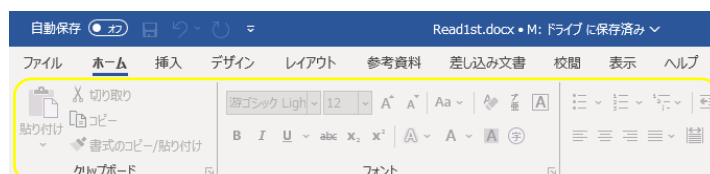
エラー コード: 0x80004005
 相関 ID: {11EBB99D-0782-47CA-A942-1F9044E33FA5}

[オンラインヘルプにアクセス](#)

OK

有効化が完了した方は、前面の画面が消えて Office を操作できるようになりますので、そのままご使用ください。何らかの理由で未完了となった方は、左の画面が出ましたら、画面を閉じて当手続きをやり直すことも可能です。(方法は次のページをご確認ください。)

有効化手続きを完了されないまま [Esc] キーなどで上記の画面を閉じると、Office の編集メニューが全て無効となり、ファイルへの書込みなどが行えなくなります。当状態でも Office ファイルビューアとしてのご利用は可能です。



以上の手続きを完了できない方は、大学が提供する Office ライセンスの利用可否につき、学生は無条件で可ですが、教職員は申請が必要¹の場合がありますので、ご確認ください。手続きを完了された方は、ご使用のアプリケーションの頭部の表題の部分から

- （閲覧者）
- （ライセンスのない製品）

などの表記が消え、ファイルの編集・保存機能を利用できるよう変更されます²。

これらの表記が残っていると、Office ビューア（読取りのみの制限モード）としての利用のみが可能となります。



誤って ESC キーなどで上記のサインイン画面を閉じてしまった方は、ご使用のアプリケーション画面右上の人アイコンの部分をクリックし、ドロップダウンメニューより「別のアカウントでサインイン」を選択して、上記の手順を再度行うことも可能です。

以上、

¹ 常勤の教職員の方は、[情報環境機構の Microsoft 365 のページ](#)の記載をご確認下さい。

非常勤の教職員の方で利用可能か不明の方は、[お問い合わせのページ](#)よりお尋ね下さい。

² 教育用端末での Microsoft Office ストアの利用は制限されており、一部科目で認められたソフトウェア以外のアドオンを含む文書等の閲覧・編集は一部制限される場合があります。